

2011 年度たこの木全体会にむけて

2011 年度たこの木全体会のお知らせ

日 時：2010 年6月 19 日（日）13：30～15：00

場 所：多摩ボランティアセンター永山分室 集会室

議 題：2010 年度活動報告及び決算報告等

2011 年度活動方針・活動計画及び予算案 他

※同日・同会場にて 15：30～16：30 の間「2011 年度NPO法人ねじり草
通常総会」を開きます。よろしければこちらからご参加下さい。

上記の通り 2011 年度たこの木全体会を行います。（前号では 5 月 29 日で案内しましたが、この日様々な会の総会や集会が重なったため予定を変更しました。予定を入れておられた方には申し訳ありません。お許してください）

たこの木全体会は、いわゆるNPO法人の総会とは違い、「正会員による決議」というものはありません。なぜならNPO法人ではないからです。これはたこの木クラブが目指す「障がい当事者の自己選択・自己決定・自己実現の支援」を実現するためには、様々な人の関わりが大切であり、又日々巻き起こる様々な事柄に対応できるよう法人格のない市民団体として活動を続けているからです。なので、たこの木全体会では、過ぎた1年を参加者とともに振り返り、新たな1年に向けて参加者とともに考える場として毎年設けています。

どなたでも参加できるとともに考える場として多くの方々のご参加をお待ちしています。

「たこの木の事をもっと知りたい」「たこの木として考えて欲しい事がある」等、聞くのみでもよし、思っきり語るもよしという事でどうぞよろしく願います。

さて、そのたこの木の 1 年を振り返ると、例年のことながら様々な出来事があり、又様々な課題が生まれてきました。記録を読み返せば去年の今頃の事柄がすでに2～3 年前の出来事のように思えてくるぐらい密度の濃い1年であったように思います。

自立生活の支援においては、長年自立生活をしてきた知的当事者が住民との折り合いがつかず家を追い出され、いったんかぼちゃ畑に移り住みつつ新たな展開を模索しました。幸い新たな場を確保する事で、新たな自立生活をスタートする事ができました。

又、自己主張が激しくなった当事者は、親もとを離れ自立生活に向けた取り組みをスタートさせました。

他の当事者に刺激されてか親もとを離れての暮らしをしよう当事者自らが行政に声をかけ、私たちと行政とが交じり支援会議を開いたこともありました。（実際は、本人に様々な意味があつて新たな暮らしの実現には至りませんでした）

又、すでに自立生活をしている人たちも、日々の暮らしの中で新たな課題が生まれました。

大きな出来事としてはすでに何度か通信で取り上げている通り、Tさんの支援を「Tさんに必要な支援を実現する会」として担い、5月30日に判決の時を迎えようとしています。

当事者の自己実現という点においては、毎週水曜日たこの木ひろばは立錐の余地がないほど人が集まり、毎回違った雰囲気でも語り合い騒ぎ合ってきました。そして、例年以上に当事者たちがイベントを企画したり、依頼された当事者による講演の準備の時に充てたり、ガイヘル等の制度利用の様子を交換し合う中で、それぞれの想いの実現の出発点にしたりしてきました。

又、第 1・4 木曜日には「あとすぺ」が開かれました。すいいち企画が当事者の反応を待っての展開に対し、あとすぺは楽器や絵をかく道具を持ち込みボランティアセンターで当事者に仕掛ける新たな場として展開してきました。

又、中学 3 年生の当事者たち 3 名が都立高校を受検し、「障害児・者の高校進学を実現する会」の支援も受けつつ見事合格。今春高校 1 年生となって新たな展開を始めています。

又、今年ほど障がい当事者が様々な場に出かけ講演をして自らの想いを発信する事で多くの課題を多くの方々に伝えてくれました。

制度面については、国の方で障害者自立支援法の改定の動きがあるものの、重度知的当事者はその蚊帳の外に置かれているように感じます。さらにそれと別に地元においては、現行の制度やサービスを切り下げようとする行政と常にせめぎ合ってきました。

そのような状況でも、当事者たちは移動支援を様々な形で活用し、自らの世界を拓げる試みを何度も繰り返してきました。

たこの木連続講座及び交流会を毎月第 3 日曜日に開催し、講座では多くの参加者とともに多くの学びを得たように思います。

予期せぬ出来事としては 3 月 11 日に東日本大震災が起こり多くの方々の尊い命が失われる事態が生まれました。阪神淡路大震災の折には「被災地の障がい者を応援する多摩市民の会」を結成したたこの木ひろばから多くのボランティアを現地に送る活動を担いましたが、今回はそれよりも多摩に住んでる当事者たちへの様々な影響が巻き起こりその対応に追われる日々が続きました。

これらの課題を担うスタッフとしては、横田さんがたこの木中心の活動にまい進し、女性スタッフとして長島さんを得、私も含め様々な角度から当事者と向き合いつつ、新たな発想をお互いに見出しながら展開してきたことも大きかったように思います。(経理/事務の面では川久保さんの存在は外せません)

そんなこんなの 1 年。事柄の項目を挙げるだけで紙面が足りなくなるたこの木クラブのこの 1 年。これらの出来事やそこから生まれる想いを振り返りつつ、新たな 1 年の新たな課題や取り組みを皆さんとともに考えていきたいと願っています。ぜひ、たこの木全体会にご参加ください。

合わせて・・・

2011 年度特定非営利活動法人ねじり草通常総会を開催します！！

たこの木全体会では、たこの木クラブの活動に加えはてなのたね・ねじり草も含め全体的な取り組みについて話し合いますが、ねじり草は法人のためこちらは正会員による総会を開かなければなりません。全体会終了後そのまま総会に移りますが、正会員でない方々も残っていただき、ねじり草の活動についてともに考えていただけるとありがたいです。

合わせてよろしくお願ひします。